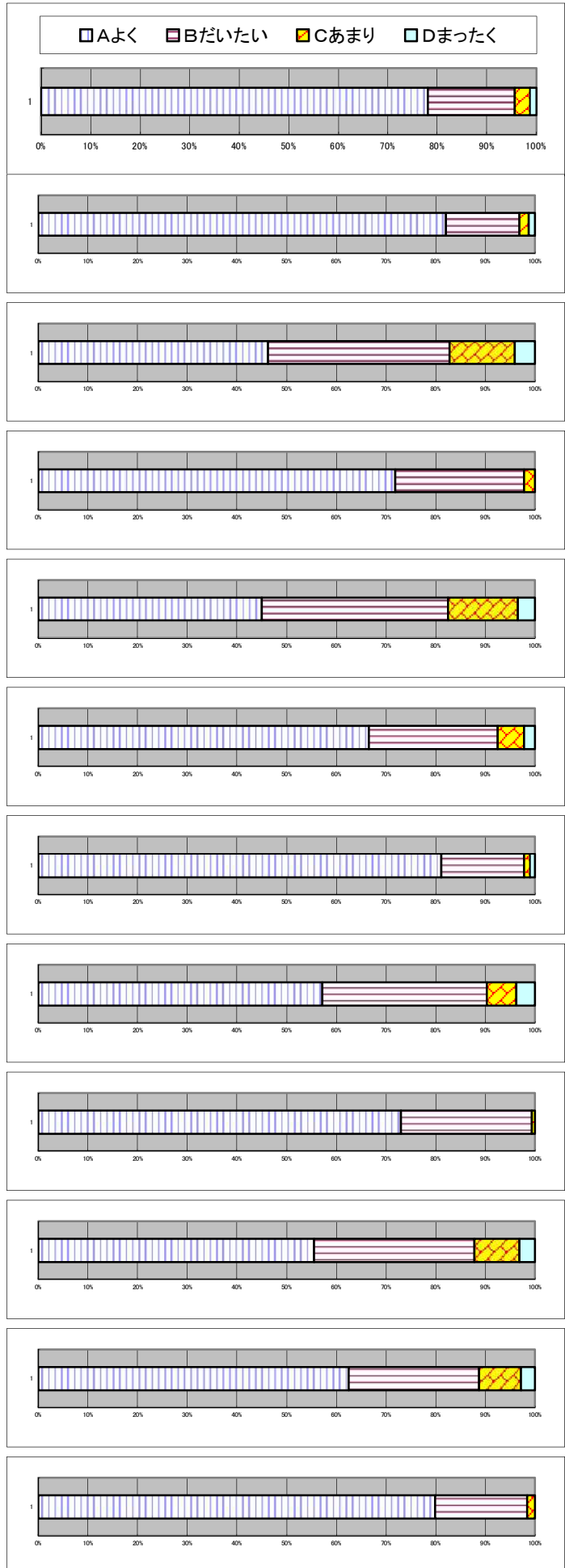


令和5年度 学校評価 児童アンケート集計表

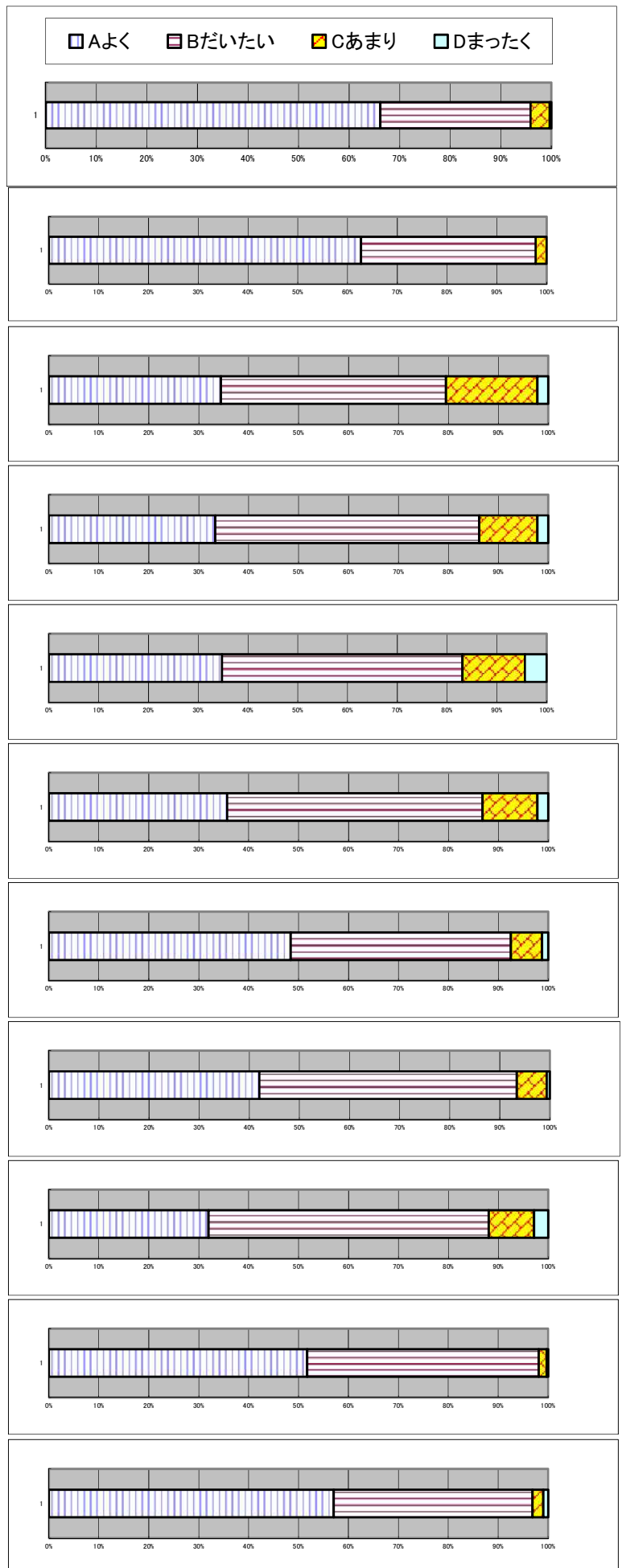
A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:まったくそう思わない

番号	設問		%
1	学校へ行くのが楽しい。	A	78%
		B	18%
		C	3%
		D	1%
2	いろいろなことを話したり、遊んだり、相談できる友達がいる。	A	82%
		B	15%
		C	2%
		D	1%
3	自分から元気よくあいさつをしている。	A	46%
		B	37%
		C	13%
		D	4%
4	先生や友達の話を集中して聞いている。	A	72%
		B	26%
		C	2%
		D	0%
5	進んで自分の考えを発表している。	A	45%
		B	38%
		C	14%
		D	3%
6	授業の内容がよくわかり、楽しく学習している。	A	67%
		B	26%
		C	5%
		D	2%
7	地域の方との勉強や活動は楽しい。	A	81%
		B	17%
		C	1%
		D	1%
8	困ったことがあったら先生に相談しようと思う。	A	57%
		B	33%
		C	6%
		D	4%
9	友達にやさしくしている。	A	73%
		B	26%
		C	1%
		D	0%
10	自分によいところがあると思う。	A	56%
		B	32%
		C	9%
		D	3%
		E	
11	学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている。	A	63%
		B	26%
		C	8%
		D	3%
12	そうじゃ当番の仕事をしっかりやっている。	A	80%
		B	18%
		C	2%
		D	0%



令和5年度 学校評価 保護者アンケート集計表

番号	設問	A	%
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	A	66%
		B	30%
		C	4%
		D	0%
2	お子さんは、学校で友達となかよく過ごしている。 (お子さんの会話より)	A	63%
		B	35%
		C	2%
		D	0%
3	お子さんは、あいさつがしっかりできている。	A	35%
		B	45%
		C	18%
		D	2%
4	お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている。	A	33%
		B	53%
		C	12%
		D	2%
5	先生は、子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在になっている。	A	35%
		B	48%
		C	13%
		D	4%
6	先生は、授業で子どもを伸ばしている。	A	36%
		B	51%
		C	11%
		D	2%
7	学級・学年の様子を通信や懇談会等でよく知ることができる。	A	49%
		B	44%
		C	6%
		D	1%
8	学校は、子どもの安全・安心、そして、健康的な生活づくりに努めている。	A	42%
		B	51%
		C	6%
		D	1%
9	学校の施設、設備等は充実したものになっている。	A	32%
		B	56%
		C	9%
		D	3%
10	学校は、地域に開かれた学校づくり(授業の公開、行事への招待、地域行事への参加)に取り組んでいる。	A	52%
		B	46%
		C	2%
		D	0%
11	学校は、地域で『まちぐるみ』で子どもを育てていくことが大切であると思う。	A	57%
		B	40%
		C	2%
		D	1%



令和5年度 学校アンケート結果のまとめ

1 アンケート結果の比較

○ 3年間の結果比較 (単位は%)

<児童>

(R3→R4→R5)

設問内容	よい評価 A+B	よくない評価 C+D
設問 1 学校へ行くのが楽しい。	96→97→96	5→3→4
設問 2 いろいろなことを話したり、遊んだり相談できる友達がいる。	96→98→97	4→2→3
設問 3 自分から元気よくあいさつをしている。	80→82→83	20→18→17
設問 4 先生や友達の話を集中して聞いている。	96→95→98	4→5→2
設問 5 進んで自分の考えを発表している。	75→79→83	24→21→17
設問 6 授業の内容がよくわかり、楽しく学習している。	90→95→93	9→5→7
設問 7 地域の方との勉強や活動は楽しい。	95→94→98	5→6→2
設問 8 困ったことがあったら先生に相談しようと思う。	90→88→90	10→12→10
設問 9 友達にやさしくしている。	95→96→99	5→4→1
設問 10 自分にはよいところがあると思う。	82→87→88	18→13→12
設問 11 学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている。	88→89→89	12→11→11
設問 12 そうじや当番の仕事をしっかりやっている。	95→98→98	5→2→2

<保護者>

設問内容	よい評価 A+B	よくない評価 C+D
設問 1 お子さんは楽しく学校に通っている。	95→95→96	5→5→4
設問 2 お子さんは、学校で友達となかよく過ごしている。	96→97→98	4→3→2
設問 3 お子さんは、あいさつがしっかりできている。	82→82→80	18→18→20
設問 4 お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている。	88→88→86	12→12→14
設問 5 先生は、子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在になっている。	90→89→83	10→11→17
設問 6 先生は、授業で子どもを伸ばしている。	93→90→87	8→10→13
設問 7 学級、学年の様子を通信や懇談会等でよく知ることができる。	93→91→93	7→9→7
設問 8 学校は子どもの安全・安心、そして、健康的な生活づくりに努めている。	97→96→93	3→4→7
設問 9 学校の施設、設備等は充実したものになっている。	90→92→88	10→8→12
設問 10 学校は、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。	94→96→98	6→4→2
設問 11 学校は、地域で「『まちぐるみ』で子どもを育てていく」ことが大切であると思う。	96→97	4→3

※ 設問 11 は令和4年度から設けました。

2 結果について

<児童結果>

◇設問 1, 2

「学校へ行くのが楽しい」「いろいろなことを話したり、遊んだり相談できる友達がいる」と感じている子どもの割合は、昨年度に引き続き高い割合となっています。引き続き、授業、行事等で学校が楽しいと感じられるように、また、子どもたち同士のかかわり合いを大切にしたいと思います。さらに、教育相談や日々の生活の中から子どもの状況を丁寧に捉え、心配な子には声をかけていきます。

◇設問 3

児童会のあいさつ運動、いろいろな国の言葉でのあいさつなどを通して、昨年度よりあいさつに対する意識がわずかに高まりました。しかし、17%の子どもが「自分からあいさつができていない」と回答しています。元気よくあいさつができるように、日々のあいさつをしていきたいと思っています。

◇設問 4, 5, 6

「話を集中して聞いている」「進んで自分の考えを発表している」の割合が増加しています。今後も授業の中で自分の考えを発表する場を多くもち、しっかり聞く場面を設定していきます。また、「授業がわかり楽しく学習している」は高い水準ですが若干低下しています。ICT機器の活用や低学年支援員による補助など、子どもの実態に合わせた指導を進め、つまずきを減らせるようにしていきます。

◇設問 7

地域の方にボランティアなどで授業の中に入れていただきました。校外学習の引率、生活科・総合的な学習等の授業の補助に入ってください、学習を充実させることができました。子どもたちもボランティアとの学習が定着してきて、安心して授業に臨めるようになってきています。今後も地域に見守っていただきながら学習を充実させていきます。

◇設問 8

「先生に相談しよう」と考えている子の水準は高くなっています。これからも子どもたちが困ったことを相談できるように、日頃の関係づくりを大切にしながら、教師が誠実に対応していきます。また、教育相談や毎月行うアンケートより子どもの様子を把握し、声をかけていきます。

◇設問 9

昨年度に引き続き「優しくしている」と回答した子どもの割合が非常に高いです。今後も友達に対する優しい行動を認めていきたいと思っています。

◇設問 10

「自分にはよいところがある」と考えている子どもの割合は昨年度とほぼ同様の水準となりました。帰りの会でその日がんばった子を認める時間があります。こういった活動等を通して自己肯定感を高めていけるようにしていきます。教師もこどもの実態を捉え、これまで以上に子どものがんばりを認めていくようにします。

◇設問 11

昨年度と同様に11%の子どもが手紙を見せていないと回答しています。学校でも連絡袋の活用など指導を進めていきます。各ご家庭でも、お子さんに確認をお願いします。

◇設問 12

「そうじや当番の仕事をしっかりやっている」と回答している子どもが昨年度と同様98%と大変高い割合となっています。自分の仕事に責任をもって取り組んでいる子が多いことがわかります。さらに、清掃についてしっかりできるように委員会活動を中心に声かけをしていきます。

<保護者結果>

◇設問 1, 2

高い評価をいただいています。引き続き、子どもが楽しいと感じられる学校づくりに努めていきます。また、人間関係はちょっとしたことで変わることもありますので、引き続き子どもの様子をよく見ながら子どもに声かけをしていきます。

◇設問 3

20%のご家庭があいさつができていないと回答しています。日々の生活を通して、あいさつができる子の育成に努めますので、各家庭でも毎日のあいさつの習慣付けをよろしく願います。

◇設問 4

高い評価をいただいています。14%は基礎・基本の学力が身につけていないと回答しています。問題解決的な学習、地域と連携した学習、ICT機器の活用等を通して、子どもの学習を支援していきます。ご家庭でも学習内容についての話するなど一緒に学習を進めていただけるとありがたいです。

◇設問 5

17%は相談できる存在になっていないという結果となっています。教師が子どもにとって相談できる存在となれるように、子どもに寄り添っていきます。また、教育相談等の機会を通じて、困ったことや悩みなどを聞き、対応していきます。

◇設問 6

若干低下傾向にあります。授業研究などを通して教師同士で互いの授業を見合っ、力量向上を図ります。また、学年間で授業の進度・授業方法などもよく相談し、子どもを授業で伸ばせるように努めます。

◇設問 7

高い評価をいただいています。今後も通信や配信メール等を活用し、ご家庭と連携を進めていきたいです。また、アンケートや欠席連絡のQRコード対応などICTの活用を進めてまいりますので、回答のご協力よろしく願います。

◇設問 8

若干下がりましたが、高い評価をいただいています。校外活動ではボランティアにも引率の協力をいただきながら実施できました。水泳の見守りでは、多数のボランティアに協力していただきました。また、歯磨き指導も再開しました。各ご家庭でも早寝早起き朝ご飯といった健康的な生活をよろしく願います。

◇設問 9

若干下がりました。保護者からの記述欄に学校南側のフェンスについての内容がありました。学校も市に修復を要請していますが、なかなか着手されない状況です。今後も要請を続けていきます。また、PTA資源回収の収益で草刈り機、放送設備を購入しました。子どもたちの学校生活が充実できるように今後も整備を進めていきます。

◇設問 10, 11

高い評価をいただいています。本年度も地域学校協働活動として、ボランティアを依頼し、地域の方と一緒に授業を進めました。ボランティアのできる方を常時募集しています。保護者の方でも大丈夫ですので、興味のある方は学校までご連絡ください。また、本年度より蒲郡中学校区で小中一貫型コミュニティースクールとして9年間のカリキュラムで子どもを育てていく方針となっています。子どもたちと地域をつなぎながら学習を進めていく考えです。是非ご家庭でも地域の活動に参加してみてください。

《まとめと今後の方針》

本年度も、竹島小学校のために多くの意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見は、全職員で共有して、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。

さて、来年度重点的に取り組みたい項目ですが、以下のように実践していきたいと考えていますので、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

①授業を通して地域とともに主体的に考動できる子どもの育成

今年度も各学年が様々な工夫をして、授業実践をしました。例えば、6年生では竹島小の50周年を振り返りました。50周年式典で地域の方に竹島小のすばらしさを発信しました。5年生では地域の公園の在り方について、アンケートをとったり、市役所の方に話を聞いたりしてまとめたことを発信しました。子どもたちは活動を通して学んだことを様々な方法で発信してきました。

次年度以降も「人、もの、こと」にかかわる活動や発信する活動を推進し、地域とともに考動できる子どもを育成していきたいと考えています。

②小中一貫型コミュニティースクールと地域学校協働活動の推進

本年度より蒲中学区コミュニティースクールが始まりました。学校運営協議会が開かれ、地域の方も学校運営に参画するようになりました。蒲中学区の4校で協力しながら、地域とともに子どもを育てていく考えです。さらに、これまで同様、地域学校協働活動も推進します。本年度もたくさんのボランティアの方に協力していただきました。ぜひ保護者のみなさまもボランティア登録して、子どもたちの学習する姿を一番近くでご覧ください。

また、運動場の環境について心配される声も聞こえてきています。そこで、次年度は授業参観の前に、PTAと地域の方と一緒に環境整備をする計画を立てています。ご協力よろしくお願ひします。

③服装について

制服リサイクルバザーではたくさんのご家庭、地域の方にご協力いただきました。新入生・在校生保護者の方にもご参加いただき、多くの制服をリサイクルできました。予定通り次年度については、制服着用は本年度と同様です。ご理解とご協力よろしくお願ひします。

また、通学帽等についても、順次検討していく予定です。

④登下校について

次年度より通学団の班編制を変更し、1班を3～5人班とします。これまで「集合場所で集まるまでうるさい」「班員が多すぎて離ればなれになる」等、人数が多いことでのトラブルが出ています。班員が少なくなることで、早く集合し、離れすぎずに登校できます。」

また、通学旗は廃止します。旗がなくても安全に登校できると判断しました。

今後、登校についても、個人登校を検討していきたいと思えますのでよろしくお願ひします。